

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)

【公表番号】特表 2000-508522 (P2000-508522A)

【公表日】平成 12 年 7 月 11 日 (2000.7.11)

【出願番号】特願平 9-533436

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 19/10

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 33/06

A 6 1 P 37/06

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 45/00

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 P 21/02

// A 6 1 K 39/395

A 6 1 K 48/00

(C 1 2 N 1/21

C 1 2 R 1:19)

(C 1 2 P 21/02

C 1 2 R 1:19)

(C 1 2 P 21/02

C 1 2 R 1:91)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/00 6 1 9 A

A 6 1 K 31/00 6 1 9 E

A 6 1 K 31/00 6 2 9

A 6 1 K 31/00 6 3 3 F

A 6 1 K 31/00 6 3 7 D

A 6 1 K 31/70 6 2 3

A 6 1 K 45/00

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 16/18

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 N 5/00 B

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 48/00

C 1 2 N 1/21

C 1 2 R 1:19

C 1 2 P 21/02

C 1 2 R 1:19

C 1 2 P 21/02

C 1 2 R 1:91

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月31日(2003.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成15年10月31日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成09年特許願第533436号

2. 補正をする者

氏名(名称) ヒューマン・ジェノム・サイエンシズ・
インコーポレイテッド

3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 F A X 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 稔



4. 補正により増加する請求項の数 11

5. 補正対象書類名 請求の範囲



6. 補正対象項目名 請求の範囲

7. 補正の内容
別紙のとおり。方式
方審査

(別 紙)

請 求 の 範 囲

1. 次に挙げるヌクレオチド配列からなる群より選択される配列と少なくとも95%同一なヌクレオチド配列を持つポリヌクレオチドを含む単離された核酸分子:

(a) 図1A～C (配列番号2) の全アミノ酸配列を持つAIM IIポリペプチドをコードするヌクレオチド配列、

(b) 図1A～C (配列番号2) の1番目から36番目までのアミノ酸配列を持つAIM IIポリペプチドをコードするヌクレオチド配列、

(c) 図1A～C (配列番号2) の1番目から36番目までおよび60番目から240番目までのアミノ酸配列を持つ可溶性AIM IIポリペプチドをコードするヌクレオチド配列、

(d) AIM IIポリペプチド細胞内ドメインをコードするヌクレオチド配列、および

(e) 上記(a)、(b)、(c)または(d)のヌクレオチド配列のいずれかに相補的なヌクレオチド配列。

2. 次に挙げるヌクレオチド配列からなる群より選択される配列と少なくとも95%同一なヌクレオチド配列を持つポリヌクレオチドを含む単離された核酸分子:

(a) 図1A～C (配列番号2) の60番目から240番目までのアミノ酸配列を持つAIM IIポリペプチドをコードするヌクレオチド配列、

(b) 図1A～C (配列番号2) の37番目から59番目までのアミノ酸配列を持つAIM IIポリペプチドをコードするヌクレオチド配列、

(c) AIM IIポリペプチド細胞外ドメインをコードするヌクレオチド配列、

(d) AIM IIポリペプチド膜貫通ドメインをコードするヌクレオチド配列、および

(e) 上記(a)、(b)、(c)または(d)のヌクレオチド配列のいずれかに相補的なヌクレオチド配列。

3. 該ポリヌクレオチドが図1A～C (配列番号2) の全アミノ酸配列を持つAIM IIポリペプチドをコードする請求項1記載の核酸分子。

4. 該ポリヌクレオチドが図1A～C (配列番号2) の60番目から240番目までのアミノ酸配列を持つAIM IIポリペプチドをコードする請求項2記載の核酸分子。

5. 請求項1の(a)、(b)、(c)、(d)または(e)のヌクレオチド配列と同一なヌクレオチド配列を持つポリヌクレオチドに厳密なハイブリッド形成条件下でハイブリッド形成するポリヌクレオチドを含む単離された核酸分子（ただし、ハイブリッド形成する該ポリヌクレオチドは、A残基のみまたはT残基のみからなるヌクレオチド配列を持つポリヌクレオチドには厳密なハイブリッド形成条件下でハイブリッド形成しない）。

6. 請求項2の(a)、(b)、(c)、(d)または(e)のヌクレオチド配列と同一なヌクレオチド配列を持つポリヌクレオチドに厳密なハイブリッド形成条件下でハイブリッド形成するポリヌクレオチドを含む単離された核酸分子（ただし、ハイブリッド形成する該ポリヌクレオチドは、A残基のみまたはT残基のみからなるヌクレオチド配列を持つポリヌクレオチドには厳密なハイブリッド形成条件下でハイブリッド形成しない）。

7. (i) 図1A～C（配列番号2）の約13番目から約20番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチド、および(ii)図1A～C（配列番号2）の約23番目から約36番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチドからなる群より選択されるAIM IIポリペプチドのエピトープ保持部分をコードする単離された核酸分子。

8. (i) 図1A～C（配列番号2）の約69番目から約79番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチド、(ii)図1A～C（配列番号2）の約85番目から約94番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチド、(iii)図1A～C（配列番号2）の約167番目から約178番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチド、(iv)図1A～C（配列番号2）の約184番目から約196番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチド、および(v)図1A～C（配列番号2）の約221番目から約233番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチドからなる群より選択されるAIM IIポリペプチドのエピトープ保持部分をコードする単離された核酸分子。

9. 請求項1、3、5および7のいずれか記載の単離された核酸分子をベクターに挿入することからなる組換えベクターの製造法。

10. 請求項2、4および6のいずれか記載の単離された核酸分子をベクターに挿入することからなる組換えベクターの製造法。

11. 請求項9記載の方法で製造される組換えベクター。

12. 請求項10記載の方法で製造される組換えベクター。

13. 請求項11記載の組換えベクターを宿主細胞に導入することからなる組換え宿主細胞の作出法。

14. 請求項12記載の組換えベクターを宿主細胞に導入することからなる組換え宿主細胞の作出法。

15. 請求項13記載の方法で作出される組換え宿主細胞。

16. 請求項14記載の方法で作出される組換え宿主細胞。

17. AIM IIポリペプチドを製造するための組換え法であって、請求項15記載の組換え宿主細胞を該ポリペプチドが発現するような条件下で培養し、該ポリペプチドを回収することからなる方法。

18. AIM IIポリペプチドを製造するための組換え法であって、請求項16記載の組換え宿主細胞を該ポリペプチドが発現するような条件下で培養し、該ポリペプチドを回収することからなる方法。

19. 次に挙げるアミノ酸配列からなる群より選択される配列と少なくとも95%同一なアミノ酸配列を持つ単離されたAIM IIポリペプチド：

(a) 図1A～C (配列番号2) の全アミノ酸配列を持つAIM IIポリペプチドのアミノ酸配列、

(b) 図1A～C (配列番号2) のアミノ酸配列を持つAIM IIポリペプチドの1番目から36番目までのアミノ酸残基のアミノ酸配列、

(c) 図1A～C (配列番号2) のアミノ酸配列を持つAIM IIポリペプチドの1番目から36番目までおよび60番目から240番目までのアミノ酸残基のアミノ酸配列、および

(d) AIM IIポリペプチドの細胞内ドメインのアミノ酸配列。

20. 次に挙げるアミノ酸配列からなる群より選択される配列と少なくとも95%同一なアミノ酸配列を持つ単離されたAIM IIポリペプチド：

(a) 図1A～C (配列番号2) のAIM IIポリペプチドの60番目から240番目までのアミノ酸残基のアミノ酸配列、

(b) 図1A～C (配列番号2) のAIM IIポリペプチドの37番目から59番目までのアミノ酸残基のアミノ酸配列

(c) AIM IIポリペプチドの細胞外ドメインのアミノ酸配列、および

(d) AIM IIポリペプチドの膜貫通ドメインのアミノ酸配列。

21. (i) 図1A～C (配列番号2) の約13番目から約20番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチド、および(ii)図1A～C (配列番号2) の約23番目から約36番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチドからなる群より選択されるAIM IIポリペプチドのエピトープ保持部分、を含む単離されたポリペプチド。

22. (i) 図1A～C (配列番号2) の約69番目から約79番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチド、(ii)図1A～C (配列番号2) の約85番目から約94番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチド、(iii)図1A～C (配列番号2) の約167番目から約178番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチド、(iv)図1A～C (配列番号2) の約184番目から約196番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチド、および(v) 図1A～C (配列番号2) の約221番目から約233番目までのアミノ酸残基を含むポリペプチドからなる群より選択されるAIM IIポリペプチドのエピトープ保持部分を
含む単離されたポリペプチド。

23. 請求項19または21記載のAIM IIポリペプチドに特異的に結合する単離された抗体。

24. 請求項20または22記載のAIM IIポリペプチドに特異的に結合する単離された抗体。

25. リンパ節症、自己免疫疾患および移植片対宿主疾患からなる群より選択される状態または疾患の処置法であって、請求項19または21記載のポリペプチドの有効量をそれを必要とする患者に投与することからなる方法。

26. リンパ節症、自己免疫疾患および移植片対宿主疾患からなる群より選択される状態または疾患の処置法であって、請求項20または22記載のポリペプチドの有効量をそれを必要とする患者に投与することからなる方法。

27. 異常増殖を抑制する方法であって、請求項19または21記載のポリペプチドの有効量をそれを必要とする患者に投与することからなる方法。

28. 異常増殖を抑制する方法であって、請求項20または22記載のポリペプチドの有効量をそれを必要とする患者に投与することからなる方法。

29. 敗血症性ショック、炎症、大脳マラリア、HIVウイルスの活性化、骨吸

収、慢性関節リウマチおよび悪液質からなる群より選択される状態または疾患の予防法であって、請求項 19 または 21 記載のポリペプチドの拮抗薬の有効量をそれを必要とする患者に投与することからなる方法。

30. 敗血症性ショック、炎症、大脳マラリア、HIVウイルスの活性化、骨吸収、慢性関節リウマチおよび悪液質からなる群より選択される状態または疾患の予防法であって、請求項 20 または 22 記載のポリペプチドの拮抗薬の有効量を